

会 議 名	令和 3 年度 第 2 回 板橋区産業活性化推進会議
開 催 日 時	令和 3 年 9 月 27 日 (月) 14 時 00 分から 15 時 30 分まで
開 催 場 所	区役所 災害対策室 A B
出 席 者	13 人 〔委員〕 植田浩史氏 堀田和彦氏 額田春華氏 大島隆夫氏 木田孝雄氏 岩月宏昌氏 木村博之氏 樋口晃久氏 鈴木眞由美氏 堺由隆氏 〔区側出席者〕 小林課長 藤原支所長 〔産業振興公社〕 大森事務局長
会議の公開（傍聴）	<u>公開（傍聴できる）</u>
傍 聴 者 数	0 人
議 事 内 容	第 2 回会議 1 会議の公開について 2 議題 (1)板橋区産業振興事業計画 2025 素案について (2)構想進行管理の流れについて
配 布 資 料	1-1 板橋区産業振興事業計画 2025 素案について 1-2 各議題に対する補足説明 2-1 板橋区産業振興事業計画 2025<素案> 2-2 具体的な事業 3 構想進行管理の流れについて 4 板橋区産業活性化推進会議(第 6 期) 委員名簿 冊子 板橋区産業振興構想 2025・板橋区産業振興事業計画 2018 冊子 板橋区産業振興事業計画 2021
所 管 課	産業経済部 産業振興課 工業振興係 (3 5 7 9 - 2 1 9 3)
以下、議事要点	
○会議の公開について 会長から付属機関等の会議の公開に関する基準に基づき公開されることを説明した。 ○議題（1）板橋区産業振興事業計画 2025 素案について 小林課長から資料 1～2 に基づき産業振興事業計画 2025 素案について説明した。	

[主な意見]

- ① 農業分野は工業や商業とどう連携していくのか。
→答弁：事業計画 2021 の事業としても記載されている農福連携や、都市型農業を推進するベンチャー企業をものづくり研究開発連携センターに誘致するなど、区の各分野と農業の連携を進めている。
- ② コロナ禍の営業自粛等で、小売り飲食等の個店は大きな影響を受けている。それらの個店支援として設備投資支援を区で行ってほしい。
→答弁：コロナ禍を踏まえ、区・公社でこれまで多くの事業を展開してきた。今後も経済情勢等を踏まえ、適切な事業を検討・実施していく。
- ③ 資料 2-2 の具体的な事業については、期日を設けて計画的に取り組んでもらいたい。
→答弁：資料 2-2 については現状期日等を記載していないが、今後内部で調整して最終的には期日を設け、計画的に事業を実施していく。
- ④ 区内農地がマンション等に建て替わっている。農地を守る施策を検討し展開すべき。
→答弁：事業者の高齢化や後継者不足により、農地面積の減少が進んでいる。区では援農ボランティア制度や農のサポーター制度を導入し事業者の支援と担い手の育成を進めている。また、生産緑地法の改正を踏まえ、農地の活用と保全を進めていく。
- ⑤ 農業と商業の連携として、例えば区内産野菜を週末に商店街で販売するなどの手法もあるので検討してほしい。
→答弁：区でもとれたて村などの事業で区内産野菜の販売を実施している。引き続き農業と商業の連携の可能性を検討していきたい。
- ⑥ 大山駅や上板橋駅、板橋駅などの再開発が進んでいる。産業振興課として各商店街をどうしていきたいか、考え方や方針を示してほしい。
→答弁：商店街活性化専門家派遣事業などを通じて、商店街と協力して商店街のあり方を検討していく。
- ⑦ 「板橋ブランド」については、事業計画 2021 以前からテーマの一つとして掲げられている。また、事業の中には時代に合わなくなってきたものもあると思われる。期を設定してメリハリのある事業展開をお願いしたい。
→答弁：板橋ブランドという一つの括りの中にも様々な事業がある。事業ごとに適宜見直しを行い、メリハリのある事業展開を心がけていきたい。
- ⑧ 助成金等は申請書が分かりづらかったり、対象者が限定されていたりする。申請書はできる限り簡素化するとともに対象者もより幅広くしてほしい。
- ⑨ 事業計画 2021 の振り返りについては、個別事業の振り返りのみならず産業施策全体の振り返りも行うべき。また、構想 2025 に掲げられている「五感産業」が事業計画 2025 とどう関係しているのかを示したほうがいい。

○議題（２）構想進行管理の流れについて

小林課長から資料 3 に基づき今後の計画策定に至るまでの流れについて説明した。